

第 1 種 交通 信号 工事 士 資格 の 概 要 （ 案 ）

目 次

1. 第 1 種交通信号工事士資格の創設目的と定義
 - 1.1 目的（資格創設の目的）
 - 1.2 定義（第 1 種交通信号工事士資格とは）

2. 第 1 種交通信号工事士受験要領（資格の付与）
 - 2.1 受験資格
 - 2.2 受験要領
 - (1) 一般共通試験
 - (2) 実技筆記試験（記述式および演習試験）

3. 資格の有効期間と更新講習
 - 3.1 有効期間
 - 3.2 資格更新講習
 - (1) 講習目的
 - (2) 資格更新講習の開催
 - (3) 講習内容

1. 第1種交通信号工事士資格の創設目的と定義

1.1 目的（資格創設の目的）

交通信号施設工事の施工に関して、これを監理し、指導能力を持つ工事士を第1種交通信号工事士資格として創設し、交通信号施設工事施工の管理監督者を育成し専門能力の向上を図るとともに、工事品質の一層の向上を図ることを目的とする。

1.2 定義（第1種交通信号工事士資格とは）

交通信号施設工事に関わる豊富な実務経験、もしくは知見を有し、高度でかつ広汎な体系的専門知識をもって、交通信号施設工事の施工に関して、これを監理し、指導的に取り組む能力を持つ者。

- (1) 交通信号施設工事において、その設計意図、各機器の仕組みと働き及び必要な関係法令、施工方策の高度でかつ広範囲な体系的専門知識をもって、施工計画の立案、作成、実行、指導監督ができる能力を有している。
- (2) 適確な判断力、マネジメント力、教育指導力により責任ある立場で契約履行を統括できる能力を有している。

2. 第1種交通信号工事士 受験要領（資格の付与）

2.1. 受験資格

以下の資格を有すること。

- (1) 第2種交通信号工事士であること。
- (2) 都道府県警察による交通安全施設工事の実務経験が7年以上あること。
- (3) 現場代理人または主任技術者相当職務の実績が3年以上あること。

2.2 受験要領

試験科目は、一般共通試験と実技筆記試験とする。

(1) 一般共通試験

試験範囲は主に交通信号工事施工ハンドブック、保守点検ハンドブック、設計ハンドブックから出題する。

試験方式は、五肢択一方式とする。

項目	内容
安全管理	・安全管理、安全確認 ・事故時の対応（緊急時・暫定的・恒久的） ・関係法令
施工管理・技術	・施工管理者の役割 ・現場着手前、着手後、工事完了後における業務 ・関係法令
設計・運用	・交差点設計、制御、運用
交通信号	・交通信号制御、管制システム、交通工学 ・交通信号機器
その他	・工物品質に係る基礎知識 （関連する公的資格、特別教育からの出題） （土木に関する知識） （リスクアセスメントの基礎知識）

(2) 実技筆記試験（記述式及び演習試験）

- ・施工工事に関連した実務(実技)の記述・演習試験
- ・施工管理、品質管理、安全管理の分野での管理監督能力を問う

3. 資格の有効期間と更新講習

3.1 有効期間

- (1) 発行日より5年間とする。更新講習受講によりさらに5年間延長する。

3.2 資格更新講習

(1) 講習目的

- ・ 交通信号施設工事における管理監督者としての専門知識の維持向上を図る
- ・ 更新時における最新技術動向を習得する。
- ・ 最新の法令改正内容を理解する。
- ・ ケーススタディを学び、リスク管理に役だてる。
- ・ 工品質を阻害する要因や要素を習得する。

(2) 資格更新講習の開催

- ・ 毎年開催とし、時期、会場は、年度ごとに計画する。

(3) 講習内容

- ・ 教本を、ハンドブックとし、施工、保守、設計関連、安全衛生の分野とする。
- ・ 交通信号技術の進展に伴う新技術
- ・ 最新の電気、土木の技術動向
- ・ 最新の法令(改正含む)
- ・ 安全(衛生)管理 (ケーススタディ含む)